

菊坂跡見塾を活用した教育活動① ゼミ活動 古民家カフェ、地域文化資源と伊勢屋

菊坂跡見塾を活用した「古民家カフェ」

観光コミュニティ学部では、文京区の指定有形文化財旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）を使い「カフェ」の運営を例年行っています。これは「観光コミュニティデザイン実践」の授業（安島博幸教授）の一環として実践的に行われたもので、企画から運営まですべてを学生たちが自ら手がけたものです。カフェでは冷たい飲み物のほか、文京区にゆかりの深い明治期の文豪、樋口一葉、夏目漱石、森鷗外にちなんだ和菓子を販売するなど、地域の文化資源と本学の教育活動を組み合わせ実践しています。



菊坂跡見塾＝旧伊勢屋質店をベースに 文京区観光資源の発掘

春学期の観光デザイン学科河村英和准教授3年生のゼミでは、新たな観光資源を発掘するというテーマで、文京区の歴史的建造物と文人たちのゆかりの地について学んでいます。学生には文京区について書かれた明治・大正期の文学作品の該当ページを探してきてもらい、各自の朗読と解説を旧伊勢屋質店の一室で行いました。学生の一人は樋口一葉の作品を持ってきましたので、テーマの舞台そのものの時代的環境を利用させてもらえる貴重な機会となりました。

菊坂跡見塾を活用した教育活動②地域交流活動「一葉忌」運営支援、菊坂かるた会

「文京一葉忌」に参加、 一葉ゆかりの旧伊勢屋質店を案内

明治9(1876)年、樋口一葉一家は法真寺の隣「櫻木の宿」に引っ越してきました。そんな縁で昭和55(1980)年から毎年命日にあたる11月23日に法真寺山内で「文京一葉忌」が開催されています。令和1年度から跡見学園女子大学が協力することとなり、日本文学関係ゼミ学生が手伝いに参加しました。

一葉忌にお越しになった文京区の皆さんを一葉ゆかりの旧伊勢屋質店にご案内し、ご見学いただきました。



「第40回 文京一葉忌」主催・運営：文京一葉会 場所：法真寺（文京区本郷）



第3回 菊坂かるた会

菊坂かるた会で百人一首に親しんでいただく

菊坂跡見塾では、新年1月に菊坂かるた会を開催しています。

本学図書館は日本有数の百人一首コレクションを誇り、現在約3000点の百人一首を所蔵しています。百人一首を「かるた部」の開催する「競技かるた会」を通じて本学学生の中に広め、地域のみなさんはじめ多くの方々に親しんでいただこうと、開催しています。

かるた会の運営を行ったのは跡見学園女子大学かるた部の学生です。跡見学園中学校高等学校かるた部の生徒も加え、文京区在住の方々も加えて賑やかに百人一首を楽しみます。

全日本かるた協会の方の競技かるたに関する説明、模範競技もごさいます。